

○ 総務文教分野

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案（・・・第 回総会； 市）		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他（ ）	分野	<input checked="" type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国	担当省庁	文部科学省
	<input type="checkbox"/> 県	担当部局	
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	9 家庭でのオンライン学習環境の整備に係るランニングコスト等の支援について		
提案市	長野市、安曇野市		
提案要旨	家庭でのオンライン学習環境を早期に整備するため、現状で補助対象となっていない端末等の導入後のランニングコスト、更新費、有償ソフトウェアの購入費等に対する財政支援を要望する。		
提案理由	<p>国の令和2年度補正予算、GIGAスクール構想の加速による学びの保障において、新型コロナウイルス対策として緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備等に対する財政支援が決定された。</p> <p>しかしながら、端末等の導入後のランニングコスト、更新費、有償ソフトウェアの購入費等については補助対象となっておらず、家庭でのオンライン学習環境の整備を進めるに当たり、市町村に多額の費用負担が発生する。</p> <p>現在の補助制度では、家庭でのオンライン学習環境を十分に整備することは困難と考えるため、これらの費用に対する補助メニューの新設や、各事業者に対する料金引き下げの働きかけなど必要な支援をお願いしたい。</p>		
現況及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの学習のため、長野市で全児童生徒（令和2年5月1日現在27,568人）に対して、1人1ヶ月あたり2,000円程度の学習コンテンツ（AIドリル）を1教科導入した場合、年間約6.6億円の費用が発生する。安曇野市で同様のコンテンツを導入した場合には、全児童生徒7,331人（令和2年5月1日現在）で、年間約1.75億円の費用が発生する。 ・市町村の一般財源のみで家庭でのオンライン学習を実施していくのは非常に困難な状況である。 		
法令関係	公立学校情報機器整備費補助金交付要綱		